







<<入院診療計画書・退院療養計画書>>

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘出術を受ける患者さまへ

0
0

患者氏名 ○ 様 病名：		症状：		担当医：○		受け持ち看護師：	
項目	1月0日 手術前日	1月1日 手術前（当日）	1月1日 手術後（当日）	1月2日～ 1日目～	1月5日～ 3日目～7日目頃	1月14日 退院日	
達成目標	手術の準備ができる		手術後の安静が守れる	血尿が軽減または消失する 痛みが軽減または消失する	自力で排尿ができる	退院後の注意点が理解できる	
治療・薬剤 (内服)	薬剤師が持参薬を確認します 確認後、許可が出たお薬は夜まで内服して下さい 15時に下剤を内服することもあります 就寝前21時頃に下剤を内服します	朝のお薬は、 () を飲んでください 手術前に点滴をします 経口補水液を摂取する場合や朝一番(9時)の手術の患者様は手術室で行います 朝6時頃、浣腸を行うことがあります 排便の有無をお知らせください	点滴は翌日の朝まで点滴を行います 手術後指示まで酸素マスクをします 心電図モニターを付けます 足にマッサージする機械を付けます お腹に管が入ってきます 背中から痛み止めの管が入ってきます	発熱がなく、食食を半分以上食べることができれば、点滴は終了します 抗血栓薬や中止といわれている() 以外、普段飲んでいるお薬を再開してください	おおよその目安ですが 術後2日目頃痛み止めの管が抜けます 術後3日目頃おなかの管が抜けます 術後5日目頃に膀胱造影検査を行い、検査の結果によって、尿管が抜けます	退院後痛みが強い時、38.5℃以上の高熱が出た時、血尿が薄くならない時、尿が出なくなった時は、外来に電話でご相談ください	
活動・安静度	制限はありません →		ベッド上安静です 	許可が出た後、歩行できます 初回の歩行は看護師が見守らせて頂きますので一人では歩かないで下さい 歩行ができれば、弾性ストッキングを脱いでいただいてもかまいません	背中痛み止めとお腹の管が抜けた翌日からシャワーの許可が出ます 	退院後は激しい運動、自転車やバイクなどの乗車は避けてください 次回外来受診までは入浴は控えて、シャワーのみとして下さい その他日常生活の制限はありません 骨盤底筋体操を続けて下さい	
食事	21時以降は食べられません お水・お茶・ポカリスエットは飲みます 特別な栄養管理の必要性 有・無	食事はできません お水は()時まで飲みます	飲食できません	昼食からお粥の食事が出ます 問題無ければ、夕食から手術前と同じ食事が出ます こまめに飲水を行ってください	特に制限はありません こまめに飲水を行ってください	特に制限はありません 飲水は控えずにこまめに摂って下さい アルコールは控え、次回の外来受診の際に医師に確認して下さい	
排泄	制限はありません 理学療法士より尿漏れ対策についてのリハビリテーションの説明があります (骨盤底筋群運動)		尿管が入ってきます →		尿管が抜けた後、排尿状態を記入する排尿日誌記録をしてください 尿漏れ状態や、尿漏れ量状態により適切な尿取りパットの準備を看護師より説明します	尿の勢いが弱くないか、残尿感が強くないか確認してください 尿が出ないときには病院を受診するようにして下さい 便秘に注意して下さい 	
患者様およびご家族への説明	入院・手術・麻酔について説明します 経口補水液について説明します シャワー浴をして洗髪をしてください 爪の長い方は切ります 患者様確認のためにIDバンドを装着します 尿漏れに対しての骨盤底筋体操のパンフレットを説明して渡します 手術中に使用する浴衣、尿取りパットをご持参ください 病院でも借用(有料)、購入できます	洗面・歯磨きはできます 指輪・時計・めがね・義歯・コンタクトレンズなどで外せるものは外してください 静脈血栓症予防のために弾性ストッキングをはきます 貴重品の管理は、ご家族でお願いします				退院は、午前10時頃です IDバンドは退院時に看護師がはずします 退院後のご相談・お問い合わせは、外来看護師が承ります	

注1 場合によっては内容を変更することがあります。

2022.11.17 110060

上記内容について説明を受け、内容を理解し(同意します・同意しません)

年 月 日 患者氏名

(代理人の場合) 代理人名

(続柄)